

# シンポジウムの種

第1号 6月1日発行

宮城学院女子大学学芸員課程

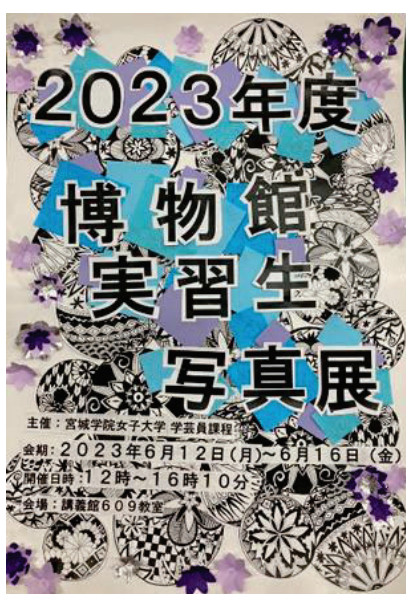
2023年度シンポジウム実行委員会

連絡先 人間文化学科副手室

TLE 022-277-6166

## 『シンポジウムの種』とは

宮城学院女子大学の学芸員課程では、毎年博物館に関するシンポジウムを開催しています。シンポジウムとは、一つのテーマを決め、そのテーマに則した発表や報告、議論・質疑応答を行うものです。今年4月に博物館法が改正され、文化観光の努力義務の追加、博物館の登録制度の見直しがされました。そこで、今年度はその改正博物館法をテーマに、博物館実習Ⅰの授業をご担当いただいている<sup>あいたよしひろ</sup>會田容弘先生に講演していただきます。今後の『シンポジウムの種』では、より詳しい情報を発信していきます。引き続きぜひご覧ください。



今年もやります!  
2023年度博物館実習生  
写真展

会期:2023年6月12日(月)~6月16日(金)

時間:12時00分~16時00分

会場:講義館609教室

主催:宮城学院女子大学 学芸員課程



## 博物館実習生写真展とは？

3年生前期の授業である「博物館実習Ⅰ」では、現在、一眼レフフィルムカメラの実習が行われています。実習生は、構内でポートレート（人物写真）・建物・風景・動植物のジャンルや構図などを意識しながら撮影しています。6月に開催する写真展では、実習生が撮った写真の中から厳選したものをご覧いただけます。

学芸員課程の一環として、撮影技術だけでなく、展示作業や運営等も実習生自身が行います。ポスターも作成しました。バリエーションに富んだポスターを学内様々な場所に掲示していますので、そちらも是非ご覧ください。



## 博物館実習とは？

「博物館実習Ⅰ」では、(a)～(d)の4つのグループに分かれ、各先生方より学芸員に必要な技術を様々な実習を通して学んでいきます。現在は6月に開催する写真展に向け、学内で一眼レフフィルムカメラでの撮影を行っています。デジタルカメラの普及により、貴重になったフィルムカメラでの撮影を、一枚一枚を大切に行っています。撮影実習を行う前に、東陽写場の社長・後藤浩策先生にカメラの基本操作や構図等をご教授いただきました。

## フィルムカメラからデジタルカメラへ

今年も行っているフィルムカメラの実習ですが、価格高騰によりフィルムの入手が難しくなっています。

来年度からはデジタルカメラでの実習も検討しているそうです。その第一歩として、本学教授・内山淳一先生が一眼レフのデジタルカメラを寄贈してくださいました。



## ✎ 編集後記

はじめまして！広報部『シンポジウムの種』製作班です。

今回は、主にフィルムカメラの実習と写真展に関して取り上げました。博物館実習生写真展には20年以上の歴史があります。今年も素敵な写真がたくさん展示されますので、ぜひ足を運んでみてください！

次号からも、この『シンポジウムの種』を通して、皆さんにはシンポジウムに向けた私たちの活動や、学芸員課程の講義の様子をたくさんお伝えしていきたいと思います。興味を持っていただければ幸いです。今後も『シンポジウムの種』をどうぞよろしくお祈りします！

(石戸・小野寺・梶原・鈴木・藤澤)